

# 武蔵境駅周辺における都市計画道路の見直しについて

## 1. 市のまちづくり方針

### (1) 第六期長期計画・調整計画（令和6年1月）

#### ■都市基盤 基本施策6 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり

〔武蔵境駅周辺〕

- ・「うるおい・ふれあい・にぎわい、これからのまち武蔵境」を定め、**南北一体のまちづくりを進める。**
- ・まちのにぎわいづくりを継続的に支援し、**駅周辺の魅力を向上させるための取組みを進める。**

### (2) 武蔵野市都市計画マスタープラン 2021（令和3年9月）

#### ■都市構造に関する基本的な方針

〔3駅周辺の魅力・活力を向上するまちづくり〕

#### ウォーカブルなまちづくりの推進

- ・歩行者空間を拡充し、歩きたくなるまちなかや滞留しやすい空間（にぎわい空間）の創出を目指し、3駅周辺に**歩行者中心のまちづくりエリアを設定**



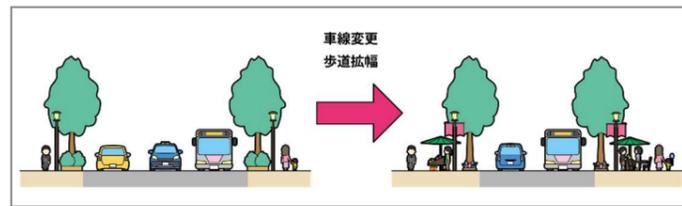
吉祥寺地域

中央地域

武蔵境地域

#### ・主要な取組み

吉祥寺大通り、桜通り及び武3・4・27等は道路空間の再配分などにより、**歩行者空間の拡充を目指す**



道路空間の再配分のイメージ図

#### ■地域別まちづくりの方針

〔武蔵境地域〕

#### 歩行者を重視した通りの形成

- ・駅周辺の通りを安心して通行できるようにするため、**歩行者中心のまちづくりを推進**

#### 道路ネットワークの整備と地域の安全性の向上

- ・武3・4・27は、周辺の交通状況等の変化や利用状況を踏まえ、**歩行者中心の道路整備を検討**

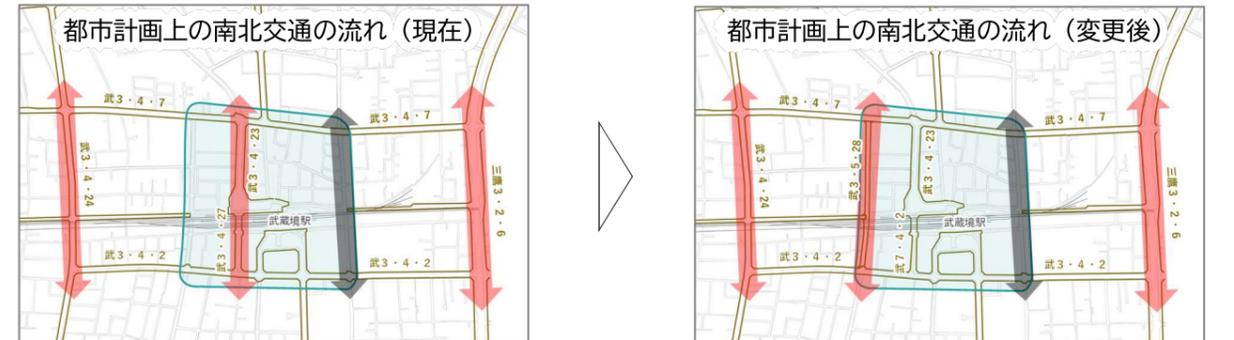
## 2. 歩行者中心のまちづくりの実現に向けた都市計画上の課題・解決策

### (1) 都市計画上の課題

- ・武3・4・27は、現状として北口駅前広場への通り抜けはできないが、都市計画上は歩行者中心のまちづくりエリアの中央部を自動車貫く幹線道路となっている

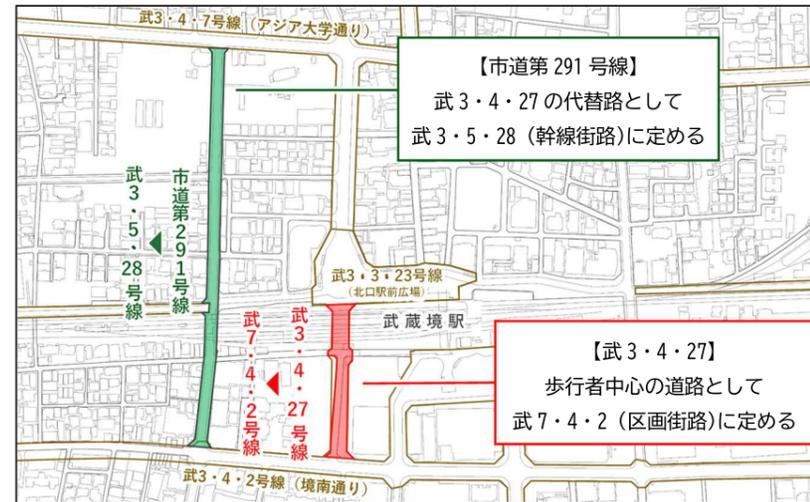
### (2) 解決策

- ・現在の交通実態にあわせ、都市計画上の自動車交通の位置づけをエリア中央部から外縁部に変更する



凡例	都市計画道路	都市計画上の自動車交通の流れ	(参考)都計道以外の自動車交通の流れ	歩行者中心のまちづくりエリア
----	--------	----------------	--------------------	----------------

### ◆都市計画変更（原案）の概要



#### 見直しのポイント1

【武3・4・27】  
車両の軸から歩行者の軸とする計画への変更  
幹線街路を区画街路へ

#### 見直しのポイント2

【市道第291号線】  
武3・4・27号線の機能を代替する路線に選定  
武蔵野市道を幹線街路へ

武蔵境駅周辺における「歩行者中心のまちづくり」の実現に向けて都市計画を変更する

- ① **武3・4・27（幹線街路）を武7・4・2（区画街路）に変更する**
  - ▶ 武7・4・2の線形は、基本、現道（約11~16m）をそのまま活用する（車道幅員5m以上あり）
- ② 武3・4・27の代替路線として**市道第291号線を武3・5・28（幹線街路）とする**
  - ▶ 武3・5・28の線形は、現道が既に12mあり、幹線街路の機能を有することから、そのまま活用する

## 3. 関連計画との整合性

### (1) 都内の都市計画道路の見直しに関する計画

- ・H28.3 東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）
- ・R1.11 東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針

都市計画の見直しに関する考え方の整合を確認

### (2) 鉄道の連続立体交差事業

- ・JR 中央線 連続立体交差事業
- ・西武多摩川線 連続立体交差事業

計画変更が連続立体交差事業に影響のないことを確認